

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公開番号】特開2017-121550(P2017-121550A)

【公開日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-026

【出願番号】特願2017-78608(P2017-78608)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月28日(2017.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光可能な発光手段と、

その発光手段の輝度を第1の輝度と、その第1の輝度よりも暗い第2の輝度とに少なくとも可変可能な輝度可変手段と、

動作可能な複数の動作部材と、

電源投入に基づいて前記複数の動作部材が予め定められた動作である投入動作を行うように制御する動作制御手段と、を備え、

前記発光手段は、少なくとも前記投入動作が開始されてから終了するまでの間、前記第2の輝度となるものであることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記複数の動作部材のうち少なくとも一部は、所定の初期位置が定められているものであることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、発光可能な発光手段と、その発光手段の輝度を第1の輝度と、その第1の輝度よりも暗い第2の輝度とに少なくとも可変可能な輝度可変手段と、動作可能な複数の動作部材と、電源投入に基づいて前記複数の動作部材が予め定められた動作である投入動作を行うように制御する動作制御手段と、を備え、前記発光手段は、少なくとも前記投入動作が開始されてから終了するまでの間、前記第2の輝度となるものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、前記複数の動作部材のうち少なくとも一部は、所定の初期位置が定められているものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の遊技機によれば、発光可能な発光手段と、その発光手段の輝度を第1の輝度と、その第1の輝度よりも暗い第2の輝度とに少なくとも可変可能な輝度可変手段と、動作可能な複数の動作部材と、電源投入に基づいて前記複数の動作部材が予め定められた動作である投入動作を行うように制御する動作制御手段と、を備え、前記発光手段は、少なくとも前記投入動作が開始されてから終了するまでの間、前記第2の輝度となるものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1237

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1237】

10	パチンコ機(遊技機)
81	第3図柄表示装置(表示手段の一部)
115	電源装置(電力供給手段)
221	MPU(制御手段の一部)
230	LCD用バックライト(発光手段)
410	起立役物(動作部材の一部)
510	傾倒役物(動作部材の一部)
520	回動役物(動作部材の一部)
710	左側揺動役物(動作部材の一部)
720	中央揺動役物(動作部材の一部)
730	右側揺動役物(動作部材の一部)
810	右側スライド役物(動作部材の一部)
820	左側スライド役物(動作部材の一部)
830	上側スライド役物(動作部材の一部)
840	下側スライド役物(動作部材の一部)
S1421	動作制御手段
S1424	電力判別手段
S1121	輝度可変手段